

(村境につき覚え書)

(上略)

一、葛西之代之後御代に罷成申候へハ、くろかねふき申候へハ、春秋に付而御山之御役に、くろかねを五たんつゝさしあげ申候へ共、松嶋しほかま御ゑいに付而、とちかわりにくりの木きりつくし申候て、たゞいまはくろかねふき不申候事、

(中略)

(二六二九)

御山守 藤右工門

寛永六年

霜月廿五日

同 清右工門

一、葛西の代の後の御代に罷り成り申し候へば、くろかね(鉄)吹き申し候へば、春秋に付いて御山の御役に、くろかねを五たんずつ差し上げ申し候へ共、松嶋・塩釜御營に付いて、栃(毛)代わりに栗の木切り尽くし申し候て、只今はくろかね吹き申さず候事、

残間家文書(『大郷町史』史料編二、一九八四)

・史料名は『大郷町史』に拠る

・読み下しは報告者が行った